

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_1

事業名	21700 地籍調査事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	5	基盤・安全	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	2	総務費		個別分野	1	土地利用		
					項	1	総務管理費		施策概要	1	総合的な土地利用		
					目	18	地籍調査費		根拠計画				
担当課	農政部 林務課	内線	2235										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・土地の実態の正確な把握や地籍の明確化により森林整備を円滑に行うとともに、境界紛争を防止する。	概要	・一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。 ・調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行う。
----	---	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
		176,176	113,227	151,193	211,193	118,858
特定財源	国費()					
	県費(地籍調査事業費3/4)	131,250	84,599	112,500	157,500	88,091
	その他()					
一般財源		44,926	28,628	38,693	53,693	30,767
個票枝番	主な事業内容					
	測量等の委託	130,000	112,224	150,000	150,000	117,855

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 5.10km ² 地籍調査進捗率 14.0% (丹生川地域 0.20km ² 、清見地域 0.58km ² 、久々野地域 0.61km ² 、朝日地域 0.77km ² 、国府地域 1.89km ² 、上宝地域 1.05km ²)
評価等	・地域の要望を踏まえ、積極的な予算確保に努め、事業量を増加することができた。 ・H29以降、高山地域の事業着手に向けた財源の確保を念頭に、地域との調整を行っていく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・国の第6次十箇年計画に基づき地籍調査を推進し、進捗率を高める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・地籍調査事業量(換算面積) 3.83km ² 地籍調査進捗率 14.54% (高山地域 0.43km ² 、丹生川地域 0.19km ² 、清見地域 0.47km ² 、久々野地域 0.64km ² 、朝日地域 1.55km ² 、国府地域 0.28km ² 、上宝地域 0.27km ²)
評価等	・高山地域の地籍調査を岩滝地域から着手し、地域要望に応えた。 ・地域の要望を踏まえ、積極的な予算確保に努め、新規箇所も地域の合意形成を図り、順調に実行されている。
次年度以降の考え方(担当課)	・平成32年度からの第七次十箇年計画について、第六次十箇年計画の実績や地域要望等を鑑み対象区域を選定する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

24_林務課.xlsx_1

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	150,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
177,117	161,166	161,166	9,973
			0
124,635	120,000	120,000	7,500
			0
52,482	41,166	41,166	2,473
査定額	説明		
160,000	地籍調査測量		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求 ポイント	・森林境界の明確化に必要な調査等の実施

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・境界明確化(市単独)事業については、境界明確化に関する他の事業との棲み分けや事業実施の効果が不明であるため見送り(要求額9,910千円)
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

21700

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_2

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合 計 画	基本分野	1	産業・労働		市長公約	・海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を目指します。 ・高山市で生産される農林・畜産品、さらには、それらを使用した飛騨高山の和食文化の市場をトップセールスで開拓します。
					款	2	総務費		個別分野	6	林業			
					項	1	総務管理費		施策概要	2	森林資源の有効活用			
					目	19	環境政策費		根拠計画					
担当課	農政部 林務課			内線	2234									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助する。 ・市産材使用量に応じ、家具等木製品を贈呈する地産外消タイプの実施 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助 ・県産直住宅組合への負担金
----	--------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
伐採された木材の利用率	44%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		51,390	31,814	51,390	51,390	41,946	10,132
特定財源	国費 ()						
	県費 (匠の家づくり支援事業費 1/3、1/2)	320	225	320	320	225	0
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)			25,000	25,000	25,200	25,200
一般財源		51,070	31,589	26,070	26,070	16,521	△ 15,068
個票枝番	主な事業内容						
	匠の家づくりに対する助成	20,000	29,963	30,390	30,390	35,581	5,618
◎ 1	東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業	30,390	997	20,000	20,000	5,367	4,370
◎ 2	高山・中津川創生連携協議会負担金	800	428	800	800	798	370

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業 高山市匠の家支援事業補助金 (建築主市内建築型) 82棟 (市外建築型) 19棟 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業) 10棟 産直住宅建設促進事業補助金
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。 ・平成27年10月に提携した中津川市連携事業については、事業のPRを強化し、市産材の利用拡大に繋げる必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・今年度より中津川市連携事業を実施しており、次年度以降も、中京圏から全国に高山市産材の利用拡大を促進する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・匠の家づくり支援事業 高山市匠の家支援事業補助金 (建築主市内建築型) 85棟 (市外建築型) 28棟 東濃松と飛騨の杉の家づくり支援事業補助金 (中津川市連携事業) 61棟 産直住宅建設促進事業補助金
評価等	・本事業により、市産材の利用拡大が実現し、市内の林業・木材産業・建築業の活性化が図られている。 ・事業開始から2か年が経過した中津川市連携事業は、事業のPRなどにより、徐々に企業などに利用されており、利用件数の増加につながっている。
次年度以降の考え方(担当課)	・中津川市連携事業は、前年度と比較しても、着実に建築戸数が増加し、事業が定着している。次年度以降も、中京圏を中心に高山市産材の利用拡大を促進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	56,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
38,250	43,390	43,390	△ 8,000
			0
250	320	320	0
	13,000	13,000	△ 12,000
38,000	30,070	30,070	4,000
査定額	説明		
30,390			
12,000			
800			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・市産材の需要拡大の促進

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

24_林務課.xlsx_2

21830

主要事業個票(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_3

事業名	21830 匠の家づくり支援事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 林務課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	2	総務費		
枝番・内容	1 東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業等 2 高山・中津川創生連携協議会負担金		☒ その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2234
			☐			目	19	環境政策費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・中津川市の東濃桧と高山市の飛驒の杉を使用し、両地域の素材の良さを組合せた理想の家づくりによる、市産材の利用拡大	概要	・木造建築物の主な構造材における中津川市と高山市の両地域の材を使用し、そのうち高山市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助する。
----	--	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点

予算額	当初	20,800
	繰越	
	補正等	
	最終	20,800
決算額		1,426
対前年度増減額(決算)		1,426

予算額	当初	20,800
主な経費		
	・東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業	
	・高山・中津川創生連携協議会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		0

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点

予算額	当初	20,800
	繰越	
	補正等	
	最終	20,800
決算額		6,165
対前年度増減額(決算)		4,739

H30予算要求(Action) H30.5時点

予算額	当初	12,800
主な経費		
	・東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業	
	・高山・中津川創生連携協議会負担金	
対前年度増減額(当初予算)		△ 8,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
[事業実績] ・中津川市・高山市 林業・木材産業連携協議会 東濃桧と飛驒の杉の家づくりを雑誌に掲載しPR 愛知県1誌1回、富山県1誌2回、岐阜県5誌1回、2誌1回 東濃桧と飛驒の杉の家づくりPRチラシ作成配布 20,000枚を作成し、建築事業者等を通じて配布 ・東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業 10棟		
[評価] ・既存の「匠の家支援事業」は市内建築事業者には浸透しているが、 「東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業」は、今後も、継続して普及宣伝 する必要がある。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	市内工務店等及び施工主等 へのPRを継続する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・中津川市・高山市 林業・木材産業連携協議会 東濃桧と飛驒の杉の家づくりの建築中の住宅見学会開催 東濃桧と飛驒の杉の家づくり構造見学会PRチラシ等作成 ・東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業 100棟 200,000円×100棟	
[スケジュール] ・H29年9月～ 民間建築事業者へ構造見学会について周知 ・H29年10月～ 構造見学会の開催	
次年度以降 の考え方 (担当課)	市内工務店等及び施工主等 へのPRを継続する。

事業実績、評価等	
[事業実績] ・補助件数 61棟 ・事業PRのぼり旗作成、設置 [評価] ・「東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業」が、徐々に工務店等に認識されつつある。今後も、継続して普及宣伝する。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	市内工務店等及び施工主等 へのPRを継続する。

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・中津川市・高山市 林業・木材産業連携協議会 東濃桧と飛驒の杉の家づくりの建築中の住宅見学会開催 東濃桧と飛驒の杉の家づくり構造見学会PRチラシ等の作成 ・東濃桧と飛驒の杉の家づくり支援事業 60棟 200,000円×60棟	
[スケジュール] ・H30年10月～ 民間建築事業者へ構造見学会について周知 ・H30年11月～ 構造見学会の開催	
次年度以降 の考え方 (担当課)	市内工務店等及び施工主等 へのPRを継続する。

24_林務課.xlsx_3

21830-1

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_4

事業名	53100 林道管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
					項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
					目	1	林業総務費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課		内線	2235									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	・林道パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
----	-------------------	----	----------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
木材生産量	130,133㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	44%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		73,674	73,196	35,876	65,876	65,232
特定財源	国費 ()					
	県費 (県移譲事務交付金)	206	268	268	268	375
	その他(使用料、負担金等)		121	120	120	124
一般財源		73,468	72,807	35,488	65,488	64,733
個票枝番	主な事業内容					
	林道の修繕工事	68,000	67,730	30,000	60,000	59,700
	林道の維持管理	3,000	2,891	3,000	3,000	2,830

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・林道修繕工事 69件 67,730千円 ・林道管理委託 19件 2,891千円
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・林道修繕工事 70件 59,700千円 ・林道管理委託 22件 2,830千円
評価等	・定期的な林道パトロールにより、計画的な維持・修繕を図ることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。

24_林務課.xlsx_4

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	36,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
36,045	35,997	35,997	121
			0
392	375	375	107
120	120	120	0
35,533	35,502	35,502	14
査定額	説明		
30,000			
3,000			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

53100

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_5

事業名	53200 市有林整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
					項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
					目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課		内線	2234									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。	概要	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
木材生産量	130,133㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	44%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
		27,171	17,516	38,480	38,480	29,209
特定財源	国費 ()					
	県費 (市有林整備事業費 68/100、80/100)	11,700	6,074	17,000	17,000	11,175
	その他(物品売払収入、市有林整備事業雑入 等)	8,500	4,133	17,400	17,400	18,034
一般財源		6,971	7,309	4,080	4,080	0
						△ 7,309
個票枝番	主な事業内容					
	市有林の整備工事	23,000	14,224	33,000	33,000	24,074
						9,850

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	30,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
26,547	38,180	38,180	△ 300
			0
10,370	10,000	10,000	△ 7,000
8,000	19,400	19,400	2,000
8,177	8,780	8,780	4,700
査定額	説明		
33,000	保育間伐、利用間伐 ほか		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・間伐 39.31ha、作業道開設654m 等 7件 ・市有林施業管理面積 1,431ha
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。 ・国等の補助を有効活用し、事業を実施したが、補助金が不足したことにより、予定した事業量はできなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務を林業事業体等へ長期委託する。業務に必要な費用は事業体により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・間伐 31.86ha、作業道開設285m ・市有林施業管理面積 1,461ha
評価等	・適正な施業により、基本財産の造成、地域林業の活性化が図られた。 ・国等の補助を活用し事業を実施したが、補助金の配当が見込みより減額されたことにより、予定した事業量はできなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務を林業事業体等へ長期委託する。業務に必要な費用は事業体により確保(国補助金や支障木の売払い)することとし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

24_林務課.xlsx_5

53200

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_6

事業名	53210 緑の保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
			目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げ補助を実施する。 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に補助を実施する。 ・国、県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施策に対して、市単独事業により支援する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
木材生産量	130,133㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	44%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		232,951	232,950	195,000	205,600	205,597
特定財源	国費 (緑の保全事業費 1/2)	700	1,080	1,000	1,000	1,125
	県費 (緑の保全事業費 1/2 等)	750	969	1,500	1,500	2,854
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	37,237	47,065	54,532	54,532	77,504
一般財源		194,264	183,836	137,968	148,568	124,114
個票枝番						
◎ 1	間伐に対する助成	14,270	14,270	16,000	7,041	7,041
◎ 1	間伐材利用に対する助成	11,259	11,259	18,000	9,247	9,247
	未利用資源活用に対する助成	20,014	20,014	15,000	20,107	20,107
	自伐林家型の森林整備に対する助成				2,150	2,150
	倒木処理に対する助成	176,754	176,754	140,000	158,680	158,680
	流木等災害防止に対する支援					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・間伐事業 247ha ・間伐促進事業32.2ha ・除伐事業 1.1ha ・間伐作業道開設事業 4,185m ・軽作業道開設事業 1,440m ・間伐材利用促進事業 7,510㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型) 10,009㎡ ・未利用資源活用促進事業(買取り型) 646t ・小規模森林整備事業 0.6ha ・森林保育促進事業 1.6ha ・倒木処理支援事業(一体処理型) 31,109本 ・倒木処理支援事業(集運限定型) 399㎡
評価等	・倒木処理支援事業が周知され、平成27年度の約1.5倍の倒木が処理された。 ・事業体が倒木処理と森林整備を並行して実施したため、森林整備事業の事業量も、平成27年度に対し増加した。 ・作業道のみ、国・県の予算不足により、事業量が大幅に減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定 ・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・間伐事業 129ha ・間伐促進事業 4.22ha ・間伐作業道開設事業 9,003m ・軽作業道開設事業 1,502m ・間伐材利用促進事業 6,169㎡ ・未利用資源活用促進事業(集運型) 10,056㎡ ・未利用資源活用促進事業(買取り型) 708t ・小規模森林整備事業 0.85ha ・倒木処理支援事業(一体処理型) 27,762本 ・倒木処理支援事業(集運限定型) 51㎡
評価等	・倒木処理支援事業を3ヵ年実施し森林整備の支障も減り、作業道開設事業も増加した。 ・事業体は倒木処理と森林整備を並行して実施しており、木材生産量も増加した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	55,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
145,341	90,000	90,000	△ 105,000
1,125	1,000	1,000	0
10,501	9,000	9,000	7,500
2,015	32,677	32,677	△ 21,855
131,700	47,323	47,323	△ 90,645
査定額	説明		
25,000	間伐事業		
18,000			
28,000			
9,000	自伐林家型地域森林整備事業		
	平成26年雪害による倒木処理の終了		
	災害対策本部費に計上		

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・精算内容を精査 ・流木等災害防止に対する支援については、災害対策本部費に計上
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

24_林務課.xlsx_6

53210

主要事業個票(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_7

事業名	53210緑の保全事業費	区分	☐ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 林務課
			☒ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産費		
枝番・内容	1間伐、枝打ち、間伐材利用、再造林促進		☐ その他重要事業			項	3	林業費	内線	2234
			☐			目	2	林業振興費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・市内の民有林にある林齢25年生以下の人工林は、市内民有林の人工林全体の6%である。 ・次世代に向けた森林資源を確保するため、林齢構成の標準化が課題となっている。そのため、主伐後の再造林を継続するため、主伐再造林を支援する。	概要	・県が実施する再造林事業に対する森林整備事業に対して、嵩上げ補助を行い、主伐後の再造林へ支援する。 ・年齢構成の平準化を目指して、主伐後の再造林(人工造林・下刈・雪起し)の国県補助金85%に市単補助金5%を嵩上げする。
----	---	----	--

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点

(十
四)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点

(十
四)

予算額	当初	600
主な経費	・森林整備に対する助成	
対前年度増減額(当初予算)		600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点

(十
四)

予算額	当初	600
	繰越	
	補正等	
	最終	600
決算額		170
対前年度増減額(決算)		170

H30予算要求(Action) H30.5時点

(十
四)

予算額	当初	300
主な経費		
対前年度増減額(当初予算)		△ 300

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・主伐後の再造林(人工造林・下刈・雪起し)の国県補助金85%に市単補助金5%を嵩上げ支援	
[スケジュール] H29 補助金申請受理 完了確認 補助金支払	

事業実績、評価等		
[事業内容] 再造林 人工造林 A=3. 08ha 下刈 A=0 ha 雪起し A=0 ha ・主伐後の再造林(人工造林・下刈・雪起し)の国県補助金85%に市単補助金5%を嵩上げ支援		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・主伐後の再造林(人工造林・下刈・雪起し)の市単補助金	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 再造林 人工造林 A=3. 0ha 下刈 A=5. 0ha 雪起し A=3. 0ha ・主伐後の再造林(人工造林・下刈・雪起し)の国県補助金85%に市単補助金5%を嵩上げ支援	
[スケジュール] ・主伐後の再造林(人工造林・下刈・雪起し)の市単補助金PR ・補助金申請受理 完了確認 補助金支払	

24_林務課.xlsx_7

53210-1

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_8

事業名	53220 森林被害対策事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
					項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
					目	2	林業振興費		根拠計画		高山市森林整備計画		
担当課	農政部 林務課	内線	2235										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害を予防し、豊かな自然環境を守る。	概要	・ナラ枯れの被害拡大を防ぐため、殺菌剤樹幹注入の予防措置等を実施する。
----	--------------------------------------	----	-------------------------------------

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		1,400	0	0	0	0	0
特定財源	国費 ()						
	県費 (森林被害対策事業費 10/10)	1,300	0	0	0	0	0
	その他 ()						
一般財源		100	0	0	0	0	0
個票枝番	主な事業内容						
	森林病虫害の予防対策	1,400	0				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	2,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
707	700	700	700
			0
707	700	700	700
			0
0	0	0	0
査定額	説明		
700			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害がなく、予防・駆除とも未実施
評価等	・平成21年高山市荘川町で発見されて以来、ナラ枯れ駆除及び予防に努めてきた。その結果、現在では被害がほぼ終息している。 ・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の拡大を防ぐための被害調査を実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☒ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・森林被害対策は、先端地域の森林病虫害の情報収集を行い、必要に応じた予防・駆除事業を行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害が報告された。そのうち一部は、H29年度林業事業体により駆除された。
評価等	・被害報告から、市は県の協力による専門家による現地確認まで迅速に対応できた。 ・被害が確定した後に、市による重点地域と林業事業体による重点地域以外の区域における駆除対応などの確に実施した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・H29年度カシノナガキクイムシによるナラ枯れ被害の情報が有り、そのうち一部は、林業事業体により駆除された。 ・市は、H30年度森林被害方針に基づく重点地域である県立自然公園にも被害があり、事業を実施する予定である。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定の 考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_9

事業名	53230 林業担い手育成事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
			項	3	林業費		施策概要	3	担い手の育成・確保		
			目	2	林業振興費		根拠計画		高山市森林整備計画		
担当課	農政部 林務課	内線	2234								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・魅力ある林業の情報発信や新規就業者の研修制度活用などによる森林技術者の育成確保を図る。 ・地域の森林づくりを担う林業グループを育てる。 ・美しい森林づくりイベントの実施による森林・林業への意識の醸成を図る。	概要	・林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。 ・高山市美しい森林づくり実行委員会による講演会および研修会等を開催する。
----	--	----	---

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29			
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)	増減 (b)-(a)
		8,043	2,111	1,250	1,250	937	△ 1,174
特定財源	国費 ()						
	県費 (林業改良普及事業費 1/3)	350	300	350	350	300	0
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	300					
一般財源		7,393	1,811	900	900	637	△ 1,174
個票枝番	主な事業内容						
	林業グループ活動に対する助成	700	600	700	700	600	0
	高山市美しい森林づくり実行委員会負担金	150	150	150	150	150	0
	林業就業の促進			400	400	187	187
	広葉樹林施業技術者の育成	1,500	1,280				
	飛騨高山森の仕事人養成塾の開設	5,700	81				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。 ・森林施業技術向上研修を開催しスイスフォレストー研修会に36人の森林技術者が参加した。 ・美しい森林づくりイベントを開催し、自伐型林業講演会に119人が、チェーンソー研修会に27人の市民や森林・林業関係者が参加した。 ・飛騨高山森の仕事人養成塾の制度を導入し、平成28年度及び平成29年度の塾生を募集したが、応募なし。なお、就業に1件つながった。
評価等	・一般市民や森林所有者等へ森林・林業への意識の醸成が図られた。 ・有用広葉樹育成技術を修得した森林技術者が育成できた。 ・林業グループのメンバー、活動等が恒常化していることから、後継者育成や新たな活動等を行う必要がある。 ・森林技術者を育成確保するため市内外の林業就業希望者へ効果的に広報等を行う必要がある。 ・広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・林業グループは、各団体の活動を通して一般市民が林業に興味を持つよう、常に新たな取り組みを念頭に活動するよう指導し、林業グループ合同によるイベントや講習、団体のない地域の住民を含めた情報交換の場を持つなど、後継者育成に繋げていくよう指導をしていく。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・林業グループ6団体の活動事業への支援を行った。 ・美しい森林づくり委員会の活動により、広葉樹施業研修会及び林業経営(指導者育成)セミナー講演会を開催し、林業事業体等の森林技術者に、広葉樹施業や伐採時の安全管理について研修を実施した。 広葉樹施業研修会 (参加者 50名) 林業経営(指導者育成)セミナー講演会 (参加者 40名) ・森林技術者に対して、広葉樹施業技術や利用方法について講習会を実施した。
評価等	・林業グループの活動は、種子採取育成や、育苗センター視察など再造林に関心が高まっている。 ・森林技術者を育成確保するため市内外の林業就業希望者へ効果的に広報等を行う必要がある。 ・広葉樹施業を実践的に行うための環境(市産材の活用、補助制度等)を整備する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	・市民が森林、林業に興味を持つよう、各林業グループは、視察研修や林業経営セミナー等から情報を収集し、その情報を発信するよう支援に努める。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
1,694	1,200	1,200	△ 50
			0
350	350	350	0
			0
1,344	850	850	△ 50
査定額	説明		
700			
150			
350			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求 ポイント	・林業事業体等との連携による林業担い手の確保の推進

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

24_林務課.xlsx_9

53230

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_10

事業名	53240 林道整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
					項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
					目	2	林業振興費		根拠計画				
担当課	農政部 林務課		内線	2234									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担 ・林道の早期完成 ・林道改良の実施	概要	・高山市の受益者負担金を支出する。 ・受益者組合への補助金を交付する。 ・県代行事業に対する負担金の支払い。 ・林道公共事業(国・県補助)を活用し、林道の改良を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
木材生産量	130,133㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	44%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
						増減 (b)-(a)
		44,947	37,931	58,778	58,778	51,790
						13,859
特定財源	国費 ()					
	県費 (林道改良事業費 1/2、6/10)	13,000	12,077	29,000	29,000	27,602
	その他 ()					15,525
一般財源		31,947	25,854	29,778	29,778	24,188
						△ 1,666
個票枝番	主な事業内容					
◎ 1	林道橋りょう点検	0	0	16,000	16,000	15,066
	林道八幡・高山線宮・高山区間建設事業負担金	7,500	3,735	7,500	7,500	4,487
	林道改良工事費	24,000	22,488	24,000	24,000	23,087
	大規模林道賦課金元利補給金	10,361	10,361	8,188	8,188	8,187
						△ 2,174

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・林道宮・高山線整備済延長 9782m ・宮・高山線事業負担金の支払 (県事業費の5%) ・受益者組合への補助金交付 2組合 ・林道改良工事の実施 (丹生川) 駄吉線 L=39.3m (清見) 夏厩～大倉線 L=67.8m (上宝) 双六～瀬戸線 L=48m	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。	
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、県の代行事業として実施する。(林道開設) ・引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良) ・引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。	

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・林道宮・高山線整備済延長 9,928m ・宮・高山線事業負担金の支払い (県事業費の5%) ・受益者組合への補助金交付 2組合 ・林道改良工事の実施 (丹生川) 駄吉線 L=40.0m (清見) 夏厩～大倉線 L=42.0m (上宝) 双六～瀬戸線 L=40.0m ・林道橋りょう点検 34橋	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定
評価等	・林道宮・高山線は、森林整備の目的だけでなく、一之宮地域と高山地域を結ぶ基幹道としても期待されているため、早期完成を実現できるよう事業を進める。	
次年度以降の考え方(担当課)	・引き続き、県の代行事業として実施する。(林道開設) ・引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良) ・引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。	

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	53,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
43,600	43,122	43,122	△ 15,656
			0
14,953	14,920	14,920	△ 14,080
			0
28,647	28,202	28,202	△ 1,576
査定額	説明		
3,200			
7,500			
24,000			
6,332			

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	・インフラ長寿命化を目的とした橋りょう点検を実施

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

24_林務課.xlsx_10

53240

主要事業個票(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_11

事業名	53240 林道整備事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 林務課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産費		
枝番・内容	1 林道橋りょう点検		☐ その他重要事業			項	3	林業費	内線	2234
			☐			目	2	林業振興費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・インフラ長寿命化基本計画に基づき林野庁が作成した林道施設長寿命化対策マニュアルに基づき橋りょう点検を実施する。	概要	・国県の補助を活用し、橋りょう点検を実施する。
----	--	----	-------------------------

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点

(十
円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点

(十
円)

予算額	当初	16,000
主な経費	・林道橋りょう基本点検及び詳細点検委託費	
対前年度増減額(当初予算)		16,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点

(十
円)

予算額	当初	16,000
	繰越	
	補正等	
	最終	16,000
決算額		15,066
対前年度増減額(決算)		15,066

H30予算要求(Action) H30.5時点

(十
円)

予算額	当初	3,200
主な経費	・林道橋梁点検委託 7橋	
対前年度増減額(当初予算)		△ 12,800

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・林道橋りょう 基本点検及び詳細点検委託	
[スケジュール] 一定要件林道橋の橋梁点検 ・H29年9月 34ヶ所点検委託発注 ・H30年3月 完了・検査	

事業実績、評価等	
[事業実績] ・林道橋りょう 34橋	
[評価] ・点検の結果、直ちに補修が必要な劣化や損傷があるという対象は無かった。	
次年度以降 の考え方 (担当課)	・直営及び補助金を活用した業務委託により橋梁の点検業務を推進する。 ☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] ・一定要件林道橋以外の橋梁のうち7橋点検委託実施	
[スケジュール] 一定要件林道橋以外の橋梁のうち予定橋点検数 ・H30 7橋点検委託 ・H31 7橋点検委託 ・H32 7橋点検委託 ・H33 7橋点検委託 以後計画的に点検委託を計画 H30 10月 点検委託発注予定 H31 3月 完了・検査予定	

24_林務課.xlsx_11

53240-1

事業シート(平成29年度決算)

24.林務課.xlsx_12

事業名	53250 生活環境保全林管理事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	
					款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
					項	3	林業費		施策概要	3	担い手の育成・確保		
					目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課	内線	2234										

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・保健・保全機能の発揮される森林の整備をするとともに、森林の植生観察等を通じ、情操のかん養及び自然保護思想の高揚を図り、自然と共生する地域づくりに寄与し山林を市民の財産として将来に継承する。	概要	・生活環境保全林の活用による森林・林業への意識の醸成 ・生活環境保全林の整備による自然とふれあう場の整備
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
「地元の木材が広く利用され、林業。木材産業が活性化している」と感じている市民の割合	30.0%	30.7%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		9,874	9,303	20,034	20,034	19,473
特定財源	国費 ()					
	県費 (生活環境保全林整備事業費 1/2、10/10)	5,000	4,860	15,000	15,000	14,375
	その他 ()					
一般財源		4,874	4,443	5,034	5,034	5,098
個票枝番	主な事業内容					
	施設の維持管理	4,874	4,443	5,034	5,034	4,752
	整備工事	5,000	4,860	5,000	5,000	4,914
◎ 1	飛騨美濃せせらぎ街道沿線の景観整備			10,000	10,000	9,806

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・生活環境保全林の利用者数 123,418人 ・遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 ・施設の修繕(せせらぎ街道四季の郷:おおくら滝遊歩道修繕)を行った。
評価等	・遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 ・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・遊歩道等の適切な維持管理を行う。 ・計画的な施設の修繕を行う。 ・観光景観林としての森林整備を行う。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・生活環境保全林の利用者数 108,184人 ・遊歩道等施設のある生活環境保全林(清見3箇所、荘川1箇所、朝日1箇所、高根1箇所、国府1箇所)について、利用者の安全を確保するため、定期的な点検や草刈り等の維持管理を行った。 ・施設の修繕(であいの森 看板基礎撤去、看板設置工事 1箇所、おおくら滝遊歩道木橋付替工事) ・観光景観林整備(不要木除去 41.59ha)
評価等	・遊歩道の管理や施設の修繕等による適正な管理により、市民や観光客等に対し、安全に自然とふれあう場が提供できた。 ・老朽化する施設を計画的に修繕を行う必要がある。 ・利用者の増加に向けた普及啓発を強化する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・遊歩道等の適切な維持管理を行う。 ・計画的な施設の修繕を行う。 ・観光景観林としての森林整備を行う。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
34,180	29,982	29,982	9,948
			0
4,910	22,500	22,500	7,500
			0
29,270	7,482	7,482	2,448
査定額	説明		
24,982			
5,000			
20,000	せせらぎ街道沿道修景		

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_13

事業名	53250生活環境保全林管理事業費	区分	☒ H29新規	☐ H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	農政部 林務課
			☐ H29拡充	☐ H30拡充		款	5	農林水産費		
枝番・内容	1飛驒美濃せせらぎ街道沿道の景観整備		☐ その他重要事業			項	3	林業費	内線	2234
			☐			目	2	林業振興費	作成年月	H30.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	H26豪雨豪雪により荒廃した清見地域の3箇所の生活環境保全林内の森林及びこれらをつなぐ道路から眺望できる森林を一体的に整備し、施設の適正な管理、県立自然公園・景観重点区域の景観保全を図り、市民や観光客等の利用回復・促進等を図り、観光等の地域活性化に資する。	概要	・飛驒美濃せせらぎ街道周辺森林の景観保全(除間伐等)を行う。 ・沿道の森林は、林内を見通すことが出来るよう、下刈り、除間伐、枝打ちを行い、明るく開放的な空間を確保する。
----	--	----	---

[参考] H28決算(Do・Check) H29.8時点

(十
円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] H29当初予算(Action) H29.3時点

(十
円)

予算額	当初	10,000
主な経費	除間伐 A=50ha	
対前年度増減額(当初予算)		10,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do・Check) H30.8時点

(十
円)

予算額	当初	10,000
	繰越	
	補正等	
	最終	10,000
決算額		9,806
対前年度増減額(決算)		9,806

H30予算要求(Action) H30.5時点

(十
円)

予算額	当初	20,000
主な経費	・除間伐 A=100ha	
対前年度増減額(当初予算)		10,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等		
次年度以降 の考え方 (担当課)		☐ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H28完了 ☐ H29完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 飛驒美濃せせらぎ街道観光景観林整備事業 除間伐等 A=50ha	
[スケジュール] ・上半期:事業実施地区の現地確認調査 ・下半期:森林整備事業契約発注 完了	

事業実績、評価等		
[事業内容] 飛驒美濃せせらぎ街道観光景観林整備事業 除間伐等 A=41.59ha		
[評価] 飛驒美濃せせらぎ街道は、本事業により新緑や紅葉の観光道路として機能が改善され、次年度も計画的に沿道の森林を整備する。		
次年度以降 の考え方 (担当課)	・複数年かけて飛驒美濃せせらぎ街道沿いの森林を一体的に整備する。	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容] 飛驒美濃せせらぎ街道観光景観林整備事業 除間伐等 A=100ha	
[スケジュール] ・上半期:事業実施地区の現地確認調査 ・下半期:森林整備事業契約発注 完了	

24_林務課.xlsx_13

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_14

事業名	53260 森林整備地域活動支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産費		個別分野	6	林業		
					項	3	林業費		施策概要	2	森林資源の有効活用		
					目	2	林業振興費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課		内線	2235									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・計画的かつ一体的な森林の施策が行われるよう、その実施に不可欠な森林の現状調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。	概要	・市との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林整備地域活動支援交付金事業) ・林地台帳の整備運用を行う。
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
木材生産量	130133㎡		127,000㎡

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		7,119	7,005	20,090	9,490	9,476
特定財源	国費 ()					
	県費 (森林整備地域活動支援事業費 1/2、3/4)	5,748	5,748	15,045	7,623	7,623
	その他 ()					
一般財源		1,371	1,257	5,045	1,867	1,853
個票枝番	主な事業内容					
	森林経営計画作成、作業路修繕等に対する助成	6,952	6,952	20,000	9,400	9,400
	林地台帳の整備					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・協定締結者数 2団体 ・作業路の修繕、計画の作成促進 等
評価等	・平成26年12月に発生した豪雪による倒木が市内で発生した。そのため市内の林業事業体は、平成27年度から平成29年度にかけ間伐等を行う環境を整備するために、倒木の処理を優先的に実施したため、森林整備地域活動支援交付金の利用は減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・協定締結者数 3団体 森林経営計画の作成促進 森林経営計画作成・施業集約化に向けた条件整備 森林境界の明確化
評価等	・平成26年12月に発生した豪雪による倒木が市内で発生した。そのため市内の林業事業体は、平成27年度から平成29年度にかけ間伐等を行う環境を整備するために、倒木の処理を優先的に実施したため、森林整備地域活動支援交付金の利用は減少した。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施を促進する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	60,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
33,110	33,090	33,090	13,000
			0
22,492	22,545	22,545	7,500
			0
10,618	10,545	10,545	5,500
査定額	説明		
30,000	境界明確化事業 ほか		
3,000	台帳データベースの整備		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	・森林の適切な管理
担当課 予算要求 ポイント	・森林施業集約化を促進するための林地台帳の整備

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査 ・林地台帳の整備に必要な経費を計上
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

24_林務課.xlsx_14

53260

事業シート(平成29年度決算)

24_林務課.xlsx_15

事業名	53300 分収造林整備事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
					款	5	農林水産業費		個別分野	6	林業		
					項	3	林業費		施策概要	1	森林の適切な管理		
					目	3	分収造林費		根拠計画	高山市森林整備計画			
担当課	農政部 林務課		内線	2235									

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	・公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐や枝打ち等の施策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
木材生産量	130133㎡		127,000㎡
伐採された木材の利用率	44%		45%

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		17,064	16,177	17,112	17,112	16,230
特定財源	国費 ()					
	県費 ()					
	その他(分収造林事業受託収入)	17,000	16,119	17,000	17,000	16,124
一般財源		64	58	112	112	106
個票枝番	主な事業内容					
	分収造林の整備	17,000	16,119	17,000	17,000	16,124
	立木販売価格県持分の購入					

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 48.91ha (高山地域、丹生川地域、荘川地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	・間伐等施策実施面積 35.56ha (高山地域、丹生川地域、荘川地域、国府地域)
評価等	・森林の現況調査により、計画的な間伐等森林施策を実施することができた。
次年度以降の考え方(担当課)	☒ 維持・改善 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 廃止検討 ☐ H29完了 ☐ H30完了予定 ・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。 ・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額	10,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)
17,988	18,117	18,117	1,005
			0
			0
17,871	18,000	18,000	1,000
117	117	117	5
査定額	説明		
18,000			
5	県持分(4割分)の購入		

※入れに影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

24_林務課.xlsx_15

53300